

庭の花に 癒やされて

真っ赤なフヨウの花



上／手入れが行き届いた楠田さん宅の庭
右／花を育てるのが好きだと話す楠田さん



バス池の近くに住む、楠田洋子さんにお会いしました。地域のシンボリックな古代バスの花も見事ですが、楠田さん宅の庭に咲く花々にも心が癒やされます。

真っ赤な大輪のフヨウ、キキョウやセージの花など、季節ごとにさまざまな花を育てています。「花のある暮らしは、心が安らぎます。好きな花はいろいろあるけど、宿根草が多い

と楠田さんは、「花を育てるのが好きだと話す楠田さん

いですかね」と楠田さんは、庭に目を向けています。

看護師の資格を持つ楠田さんは現

在、週に数日、保育所で会計年度任

用職員として子どもたちを見守っています。「庭の花を摘んで保育所に持つてきます。保育士の先生たちが『心が癒やされます』と喜んでくださいます」と話します。

手入れが行き届いた楠田さんの庭で立ち話をしていると、バス池からの涼やかな風が立ちました。

とにかく明るい 恵美子さん

「生粋の堂園つ子」と自負する田上恵美子さんにお会いしました。専業農家の次女として生まれた恵美子さんは、現在、実家の生業を守り継いでいます。「幼い頃から両親について、田んぼや畑に行くのが好きだったんです」と恵美子さん。高校卒業後、福岡の短大に進学する際に恵美子さんの両親は「農家を継ぐことを約束するなら、家を出てもいい」と

涼しげなキキョウも
咲いていました



軽快なトークで会話を弾ませる恵美子さん



いう条件を出したそうです。「農繁期になると帰省して手伝いをしました。出席日数が足りなくなつて、危うく単位を落としそうになりましたね」と笑つて当時を振り返ります。

結婚後も両親と同居し、昨年86歳で亡くなつた父の範明さんと田畠を守つてきたという恵美子さん。現在は、一人で米やクリ、ゴーヤを栽培しているそうです。「田植えや稻刈りなど、親戚や知り合いの人たちに助けてもらつてます。どうにかなるもんです」ととにかく明るい恵美子さんです。近ごろはちまたで人気の多肉植物の栽培もスタートさせました。フリーマーケットのイベントなどで「ピエニ」という看板を上げて販売しているとのことで、これから人気を集めそうですね。

そんな恵美子さんの趣味は、なんと「パイナップル作り」。なんでも、16年前に64歳で亡くなつた母のマシ子さんとの両親は「農家を継ぐことを約束するなら、家を出てもいい」と

恵美子さんの畑の一角のビニールハウスには多肉植物がいっぱい



上／おいしく熟した恵美子さんのパイナップル
右／趣味で栽培しているというパイナップル



ゴーヤもどんどん出荷されて

います
秋にはおいしいクリ